

# 創世記

ヨセフによる福音書

PART ONE

 GraceCity  
Church Nagoya

# もくじ

- I. 使い方
- II. はじめに
- III. 創世記 37:1-11 → ヨセフの夢
- IV. 創世記 37:12-36 → ヨセフは売られた
- V. 創世記 38:1-30 → ユダとタマル
- VI. 創世記 39:1-23 → ヨセフとポティファルの妻
- VII. 創世記 40:1-23 → 献酌官と料理官
- VIII. 創世記 41:1-57 → ファラオの夢

# 使い方

グレイスシティチャーチではC.O.M.A. (Context = 文脈、Observation = 観察、Meaning = 意味、Application = 適用) の方法を用いています。この方法を持って聖書箇所に取り組んでいきましょう。私たちは理論に焦点を当てた「議論のための質問」を「応答するための質問」（参加者が聖書箇所の中心テーマと個人的に対話することを求める質問）に置き換えることが適切だと考えています。

## 文脈 →

1. 周囲の節、段落、章、出来事などに注意を払い、読んでいる箇所が、聖書の中の特定の書物の文脈にどのように当てはまるかを確認してください。
2. この箇所が聖書全体の大きなストーリーにどのように当てはまるのか、つまり、神がイエス・キリストを通してどのように人々を救い、神の御国でご自身の支配のもとに生きていくようにしたか、に注目してください。

## 観察と意味 →

3. 聖書本文を注意深く観察しましょう。接続ワード（例：「～なので」「もし」「ですから」など）、繰り返し、対話、物語、旧約

聖書の引用などの詳細に目を留めましょう。

4. 聖書本文の意味を理解するためには、著者の目的や意図（聖書の著者はなぜこれを書いているのか？）を見極める必要があります。
5. 手助けとなる質問の例：
  - ▶ 誰が、誰に向けて書いていますか？
  - ▶ 著者と読者の状況はどうでしたか？
  - ▶ 取り組むべき問題があり、そちらへ目を向けるようにと促されていますか？
  - ▶ 繰り返されるテーマや、すべてをまとめている一つの主題はありますか？

## 適応 →

6. 神のことばを心に適用しましょう。「心」に関する良い質問をすることで、単に状況や行動に対処することの先へと進みましょう。例えば、「なぜ私たちはこうするのでしょうか？」「私たちは本当のところ何を望んでいるのでしょうか？」
7. 常に福音を適用に結びつけましょう。例えば、「キリストを知っていることは、私たちの神への従順にどのような違いをもたらすのでしょうか？」
8. 神、私たち自身、キリストにある救い、教会、世界などについて、その箇所が私たちに何を教えているのかを尋ねてみましょう。



はじめに

# はじめに

創世記の最後の14章は、ヨセフの人生の浮き沈みに目を向けています。ヨセフもヤコブの息子の一人でした。ヤコブには12人の息子がいましたが、ヨセフを他の息子たちよりも愛していました。その愛情の象徴として、ヨセフに色のついたあや織りの長服を与えたのです。ヨセフの兄弟達は嫉妬し、ヨセフを奴隷として売り飛ばしました。ヨセフがエジプトに連れて行かれ、やがてファラオの役人の一人であるポティファルの執事となったのです。

創世記の筆者はモーセです。モーセは神によって召され、イスラエルの人たちをエジプトから奴隷の身から解放し、荒野を通り、約束の地カナンへと導いた預言者です。モーセはヨセフの人生を取り巻く出来事が、神の命令によるものであり、神の契約の約束の成就であることを理解していました。この創世記の終章では、神の摂理だけでなく、聖書全体に共通するパターンも教えています。聖書において、神に選ばれた解放者の一人が拒絶されるたびに、その拒絶が神の民の解放に重要な役割を果たすというパターンです。イエスはこのパターンの最終的な例であるのです（使徒の働き4:27-28参照）。

## 大きなストーリーの中に位置づける

ヨセフの物語は3つの段階を軸に展開し、それぞれの段階がイエスの人格と御業の一面を反映しています：

- 最愛なる息子
- 拒絶された奴隷
- 崇高な救い主

神はヨセフをエジプトに遣わし、彼を祝福し、大きな権力の座に就かせました。そして自分の家族をはじめ、世の多くの人々を飢えから救うために、神の器となったのです。イエスもまた、人々を救う神の器となるために、偉大な立場を捨てられたのである。キリストの生と死は、人々を罪の罰である霊的な死から救う道を作ったのです。ヨセフの認識では、彼の兄弟たちは確かに意図して悪を行いました。神は彼の状況を益となるよう計画され、信仰の面での”残りの者”たち（レムナント）を確立されました（創世記45：7）。同様に、イエスを十字架につけた人々は確かな悪意を持っていましたが、神の御子の犠牲の計画はすべての人の益のためでした。イエスの死によって、神は再び”残りの者”たち（レムナント）を救われたのです。



ヨセフの夢

創世記 37:1-11

# 創世記 37:1-11

## ヨセフの夢

### 聖書箇所

創世記 37:1-11

### 大きな目的

ヨセフは複雑な家庭で育ちました。彼は、裏切り、苦難、不正、そして孤独に耐えていました。しかしこの聖書の中で最も劇的とも言える逆転劇を通して、ヨセフは権力と権威のある地位へ上り詰め、神の人々であるユダヤの民を救い、神から契約を受けた家族を守ることに成功しました。ヨセフの物語はこの「愛する子」の人生における神の摂理の物語であり、来るべきまことの、より完全な愛する子の到来を予言するものです。

### 概要

創世記は「世代」の歴史を軸に構成されており、この章は「ヤコブの世代」から始まります（2節）。

アブラハム（ヨセフの曾祖父、ヤコブの祖父）には、イシュマエルとイサクという二人の息子がいました。家族の関係を良好に保つために、アブラハムは二人の息子のどちらかを選ぶ必要がありました。神の指示に従い、アブラハムはイサクを選び、イシュマエルを送り出したのです。このことがこの家族の中での鼻肩（ひいき）問題の始まりだったかもしれないし、あるいはイサク（ヨセフの祖父）から始まっていたのかもしれませんが。イサクとリベカの間には、エサウとヤコブという双子の男の子がいました。イサクはエサウを可愛がり、リベカはヤコブを可愛がりました（25:28）。このような機能不全に陥った家庭環境を背景に、ヨセフの物語が始まります。

ヤコブは息子のヨセフを寵愛していました（3節）、ヤコブは明らかに賢明で責任ある親がやるべきではないことをしていました。ヤコブ自身、好意、欺瞞、怒り、罪悪感など、自分の人生における機能不全的経験をヨセフにも受けさせてました。操作的な態度での子育ての方法を伝えているのです。結果的にヨセフも自分の夢を兄弟たちに見せびらかすという愚行を犯してしまいます。ヨセフの最初の夢は、兄弟たちがヨセフが自分たちの上に君臨することを意味すると解釈されました（8節）。ヨセフの二番目の夢は、同様の期待を強め、父から叱責され、兄弟たちを激怒させました（10節）。

## 観察と意味

1. この物語の始まりにおいて、ヨセフは何歳で、どんな仕事をしていたか？（2a）。ヨセフが兄弟たちとの関係でとった具体的な行動が語られています（2b節）。彼はどんな行動をとりましたか？
2. 兄達のヨセフに対する態度（4節）を理解するのに役立つ情報（3節）を見つけてみてください。ヨセフに対するヤコブ（イスラエル）の態度はどうでしょうか。なぜ、ヤコブはこのように感じているのでしょうか？ヤコブはその気持ちをどのように表現しているのでしょうか？
3. ヨセフの最初の夢（5-8節）で、彼はどのようなものを見て、夢の中で何をしていますか？。兄弟たちはそれらが何を表しているかと解釈したのでしょうか。彼らはそれを信じていたと思いますか？あるいはなぜそうしなかったのでしょうか。
4. ヨセフの二番目の夢（9-11節）では、どんなものを見て、何をしているのでしょうか。ヨセフの2つ目の夢は、誰に語ったのか。その人たちはどう答えましたか？

## 適応

- ヨセフは神の言葉に忠実であることの結果として、苦しむこととなりました。聖書に登場する預言者たちは、神の言葉に忠実であった結果、しばしば苦しむこととなります。イエスもまた、神の言葉に忠実であったために十字架にかけられました。あなたは、神のことばに忠実であったために、どのような苦しみを味わったことがありますか？クリスチャンになった結果、あるいは神の教えに従った結果、家族からどのような反応をされたことがありますか？
- 神がイシュマエルよりイサク、エサウよりヤコブ、兄弟達よりヨセフを選ばれたのは、イサクやヤコブ、ヨセフに何か原因があったわけではありません。それぞれの兄弟は、他の兄弟と同じように墮落していたのです。パウロは、「彼らはまだ生まれておらず、良いことも悪いことも何もしていない」（ローマ9:11）にもかかわらず、神はエサウではなくヤコブに対して好意を持たれたと説明し、これを裏付けています。この真理は、あなたの家族に対する姿勢にどのような影響を与えますか？
- あなたは子どもたちにどのような伝統を引き継いでいますか？彼らはあなたをどのように記憶するのでしょうか？





ヨセフは売られた

# 創世記 37:12-36

# 創世記 37:12-36

## ヨセフは売られた

### 聖書箇所

創世記 37:12-36

### 大きな目的

ヨセフは複雑な家庭で育ちました。彼は、裏切り、苦難、不正、そして孤独に耐えていました。しかしこの聖書の中で最も劇的とも言える逆転劇を通して、ヨセフは権力と権威のある地位へ上り詰め、神の人々であるユダヤの民を救い、神から契約を受けた家族を守ることに成功しました。ヨセフの物語はこの「愛する子」の人生における神の摂理の物語であり、来るべきまことの、より完全な愛する子の到来を予言するものです。

### 概要

ヨセフの兄弟達は彼を穴に投げ入れ、奴隷商人に売り、死んだことにしました。このような出来事の中で、神の話は出てきません。まるで、この物語の中では神が不在であるかのようにも見えます。

この沈黙は、私たちの人生で最も困難な瞬間に神が存在することについて、何を教えてくれるのだろうか。

この記述を通して、読者は、神が明らかに隠れていることが、神の無配慮な不在を示すのではないことを理解するよう訓練されています。ヨセフが「ドタン」という場所（17節）で兄弟たちを見つけ、裏切られるのは、神に顧みられないように見えるからです。しかし、その何年も後に、エリシャがシリア軍に包囲されたのも、この「ドタン」でした。エリシャのしもべは、ヨセフのように神の存在を見ようとしませんが、エリシャは、火の馬と戦車（神の軍勢）で埋め尽くされた田舎を見たのです。

ヨセフを遠くから見た兄弟は、彼を「夢見る者」と呼びました（19節）。この言葉は、ヨセフが自分の夢の主人であることを示す皮肉である。長男であるルベンは、ヨセフを殺さないように弟たちを説得する。ルベンはヨセフを助け出し、父のもとに返すことを計画しました（21-22節）。ユダはヨセフを殺したくないという憐れみを示すが、弟を奴隷として売ることで利益を得る機会と考えたのかもしれない（26-27節）。

## 観察と意味

1. この聖書箇所（12-17節）において、ヤコブはヨセフをどこに送るつもりなのでしょう。そして、そのことについてのヨセフの意欲はどの程度のものでしょうか？またヨセフとヤコブ、どちらも危険は感じていないのでしょうか？このことは、ヤコブとヨセフについて何を物語っているのでしょうか。

注：皮肉なことに、ヤコブはヨセフに向かって「兄さんたちが無事かどうか、」（14節）と言っています。これは原語では文字通り、「兄弟たちのうちに平和（ヘブライ語でシャローム）があるかどうかを見なさい」という意味が含まれています。しかし、私たちはすでに「4 ヨセフの兄たちは、父が兄弟たちのだれよりも彼を愛しているのを見て、彼を憎み、穏やかに話すことができなかった。」（4節）と書かれているのを見ています。つまり、ヤコブは、憎い息子を、平和を語るつもりで全くない兄弟たちとの間に「平和」を探すために送り込んだのです！

2. ヨセフが来るのを見た兄弟達は、ヨセフに何をしようと企てましたか（18-20節）？
3. ヨセフの命を救おうと介入したのは、どの兄弟ですか（21-22節）？なぜ、この息子は他の兄弟たちの目をヨセフの殺害からそらせようとしたのか、その具体的な理由は何だと思えますか？

か？彼が父親のためにこのようなことをしようとする理由に思い当たる節はないでしょうか？（考えられる動機について：創世記35:22参照）

4. ヨセフを捕らえた兄弟は、どのような屈辱を目に見える形で彼に与えましたか？（23-25節）兄弟は自分たちに向かってくる人たちを見ましたが、彼らはどこに行くのでしょうか（26-28節）？ヨセフを殺してはいけないと提案したのは誰ですか？
5. 兄弟が父に仕掛けた策略は何でしたか（31-35節）？そのためにどんな動物が使われましたか？

注：父に長服を確認するよう頼む（32節）ことで、息子に何が起こったのかの判断を（嘘を伝えるのではなく）ヤコブに委ねています。ここで皮肉なのはヤコブは息子たちに騙されているのだが、彼自身も生涯を通じて他人を騙してきたのです

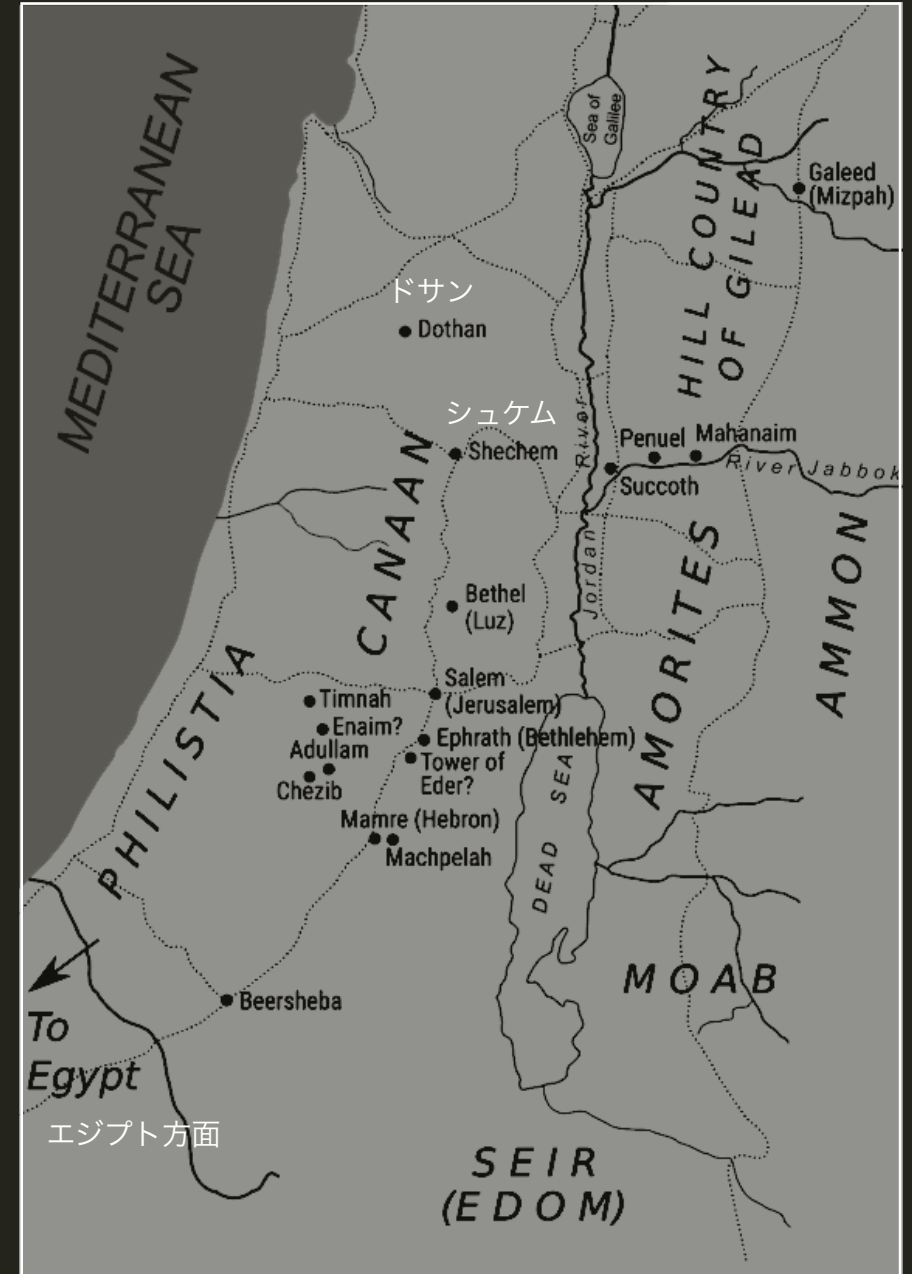
6. ミディアン人はヨセフを誰に売ったのでしょうか（36節）。その人物はどのような立場でファラオに仕えてたのか？

## 適応

- この「家族」を見て、地球上のすべての国々に祝福を与える媒体としてふさわしいと思いますか（創世記12:1-3、26:4、28:14参照）？この「家族」は、人間の本质についてあなたに何を示していますか？あなたはこの厄介な「家族」にどのような点で共感しますか？
- この箇所から、混乱した家族に対する神の姿勢について何を学びますか？
- このような厄介な「家族」の構造を経験しながらも、ヨセフの人生における神の摂理は、あなたの「家族」に対する姿勢にどのような影響を与えますか？

**神が不在と思われた瞬間、すなわち御子イエス・キリストの十字架においても、神はそこにおられ、贖罪と回復のために働かれていました。**

(使徒 2:22-24)





ユダとタマル

# 創世記 38:1-30

# 創世記 38:1-30

## ユダとタマル

### 聖書箇所

創世記 38:1-30

### 大きな目的

ヨセフは複雑な家庭で育ちました。彼は、裏切り、苦難、不正、そして孤独に耐えていました。しかしこの聖書の中で最も劇的とも言える逆転劇を通して、ヨセフは権力と権威のある地位へ上り詰め、神の人々であるユダヤの民を救い、神から契約を受けた家族を守ることに成功しました。ヨセフの物語はこの「愛する子」の人生における神の摂理の物語であり、来るべきまことの、より完全な愛する子の到来を予言するものです

### 概要

この章は聖書の中で最も不快な章の一つかと思います。私たちはヨセフの弟ユダが性的な罪と自己中心性の下降の旅に出る様子を追って読んでいます。

なぜ著者は一章をまるまるユダと彼の性的不品行の汚い詳細に費やしたのでしょうか？

この章では、ユダの家系を記録しています。この章は、長男が弟に押し退けられるという出生のエピソードで締めくくられています（27-30節）。ダビデの王統、つまりイエス・キリストの王統は、この弟によってもたらされるのです。この章に記されているのは、メシアが誕生するユダが行った行為です。このことは、聖書に共通するテーマである、神が救済の目的を達成するために、最もありえない人物を使うということを強調しています（1コリント1:26-29章）。

ユダを不屈き者とするべき証拠はたくさんあります。彼はカナン人の妻を娶り、彼女との間に3人の息子をもうけた。その長男は非常に悪く、神は彼を死に至らしめました。次男は、息子たちの相続する財産を減らしたくないので、夫の兄弟として、結婚の義務を果たすことを拒否します（申命記25:5-6参照）。そのため、彼も死罪に処されました。それからしばらくして、妻を失ったユダは、未亡人である義理の娘を売春婦だと勘違いしてしまいます。彼は彼女をこですが、そのことを知らずに彼女が子を宿していることが判明すると、彼女の死すらを命じました。

やがてユダはその妊娠が自分の責任であることを悟り、タマルは双子を産むことを許される。そのうちの一人がペレツで、そのペレツから生まれたのがボアズである。ボアズはルツと結婚し、ダビデの祖先と

なり、その子孫から救世主メシアが誕生する（ルツ記4:18-22、マタイ1:5参照）。この章はユダの最もひどい姿を描いているが、同時に彼の変貌の始まりでもあるのです。

## 観察と意味

1. ユダはこの女性との間に何人の子供をもうけましたか？そしてその子達の名前は何か（2-5節）。このような状況が起こるには、ユダはどれくらいの期間、このカナン人の中にいたのでしょうか？
2. ユダは、十字路にいるこの女性を誰だと考えているのでしょうか。また、なぜタマルだと気づかないのでしょうか（15節）。ユダは彼女に何を求めているのか。そして、彼女はユダに何を求めているのでしょうか（16節）？

注：モーセの律法は後に出てきますが、レビ記ではユダが行おうとしているような性的冒涇を扱っています（レビ記18:15、20:12参照）。

3. ユダは女に何を与えることを約束したのか（17節）。そのような支払いがない場合、タマルはその時まで何を求めているのでしょうか（18節）。なぜ、そのようなことを求めたと思いますか？ユダは、「女」との約束をどのように果たそうとしたのか（20-23節）。

4. タマルの子供たちの名前は何ですか（27-30節）。ペレツという名前はどのような意味ですか？なぜそう呼ばれるのでしょうか？

## 適応

- この聖書箇所から、人間の本质について何を学べますか？
- 最後に、ユダは娘婿のタマルの信仰に出会うことで、神の恵みが押し寄せ、ユダを変えていきます。このことは、神の恵みについて何を教えてくれるのでしょうか？
- この章からの気づきは、今日のあなたの生活にどのような影響を与えるのでしょうか？



ヨセフとポティファルの妻

# 創世記 39:1-30



# 創世記 39:1-30

## ヨセフと ポティファルの妻

### 聖書箇所

創世記 39:1-30

### 大きな目的

ヨセフは複雑な家庭で育ちました。彼は、裏切り、苦難、不正、そして孤独に耐えていました。しかしこの聖書の中で最も劇的とも言える逆転劇を通して、ヨセフは権力と権威のある地位へ上り詰め、神の人々であるユダヤの民を救い、神から契約を受けた家族を守ることに成功しました。ヨセフの物語はこの「愛する子」の人生における神の摂理の物語であり、来るべきまことの、より完全な愛する子の到来を予言するものです。

### 概要

この章では、また「ヨセフの物語」とエジプトでの彼の居場所に私たちの視点が引き戻されます。物語は37章の終わりで中断したところから再開されます。ヘブライ語文学において、中断された物語を再開させるにあたって、中断する前の詩の多くを繰り返すという手法がよく使われます（37:36と39:1を比較してみてください）。

兄たちに奴隷として売られたヨセフは、策略やごまかしをするような人間ではありませんでした。彼は誠実な人であり、試され、成熟さを示していました。主は、彼の以前の未熟さにもかかわらず、ヨセフと共におられたのは明白でした（37:10）。ヨセフは祝福の溢れる源のようになり（2-3節）、主人の家庭を管理する責任者にまで上り詰めました（4-6節）。彼は主人の妻の誘惑に屈しなかった（6-14節）。しかし、妻はヨセフを冤罪で訴え、ヨセフは投獄されました（14-20節）。

ヨセフの境遇が変わっても、変わらないのは、神の力強い存在でした（2-3、21、23節）。神はヨセフと共におられ、ヨセフの人生を通して神の計画を実現させることを約束されていました。これがヨセフの忍耐の秘訣でした。神が共にいてくださったため結果、ヨセフはポティファルの家での成功（1-6節）、誘惑にも負けず成功（7-12節）、牢獄の管理での成功（21-23節）を経験します。

## 観察と意味

1. ポティファルの家の中でのヨセフの成功については5つの説明があります（2-5節）。以下のリスト埋めてみましょう：

|          |  |
|----------|--|
| 創世記 39:2 |  |
| 創世記 39:3 |  |
| 創世記 39:3 |  |
| 創世記 39:5 |  |
| 創世記 39:5 |  |

2. ヨセフの容姿について、この箇所はどのように描写しているか（6節）。なぜ、このような特性が強調されているのでしょうか？

注：実はヘブライ語の叙述において、私たちに容姿の特徴が示されることはほとんどありません。もし示されているのであれば、その特徴の情報は物語にとって重要であることを示しています。

3. ポティファルの妻が冤罪を訴え始めるまで（13-14節）、どれくらいの間がかかったのでしょうか？ヨセフの「間違っただ行い」で、彼女はまず誰に向かって言っていますか？ヨセフの「不品行」の最初の部分で、彼女は誰を責めているように見えますか（14節）？

4. ポティファルの妻がヨセフに関連した出来事を語る時、何が間違っていますか（14節b-15節）？妻が語った話に対するポティファルの反応はどのようなものでしょうか（19節）？

## 適応

- 神はヨセフに（創世記37の2つの夢を通して）これから受け取る偉大さの兆しを与えていたのです。もしあなたが同じような状況にいるとしたら、これらの夢が実現する可能性についてどう考えるでしょうか？もしあなたがヨセフだったら、あなたの人生への神の関わりについてどう考えるでしょうか？
- 人生が辛いとき、神が共にいてくださることを思い出すのが難しいのはなぜですか？あなたは通常、苦しみに対してどのような反応をしますか？
- 神が共にいてくださるという確信があれば、あなたの反応はどのように変わのでしょうか？辛い時に神様を信じることができるようになるには、どのようなことが必要でしょうか？



献酌官と料理官

# 創世記 40:1-23

# 創世記 40:1-23

## 献酌官と料理官

### 聖書箇所

Genesis 40:1-23

### 大きな目的

ヨセフは複雑な家庭で育ちました。彼は、裏切り、苦難、不正、そして孤独に耐えていました。しかしこの聖書の中で最も劇的とも言える逆転劇を通して、ヨセフは権力と権威のある地位へ上り詰め、神の人々であるユダヤの民を救い、神から契約を受けた家族を守ることに成功しました。ヨセフの物語はこの「愛する子」の人生における神の摂理の物語であり、来るべきまことの、より完全な愛する子の到来を予言するものです。

### 概要

大昔の世界では、献酌官（王の酒の毒味役）や料理官も王宮の一員でした。王宮の一員として、彼らは王の助言者達が王の見た夢を考察し、その解釈を提供するのを目撃したことでしょう。しかし、献酌長官と料理長官は投獄されたことによって、王の相談相手から切り離され、通訳してくれる人がいない状況にいました。古代の思想では、夢は神の啓示を受けるための主要な手段でした。ヨセフもそのことは認めているが、夢を解釈するのはプロの魔術師の仕事であるという当時の一般的な考え方からは離れていました。

ヨセフでは、献酌官と料理官の2人の夢を解釈しました。この後、献酌長官はファラオによって解放され、王宮の中で元の立場に戻されました（21節）。しかし、献酌官の不作為により、ヨセフが牢獄に入れられたままでした（23節）。この物語では、ヨセフはそんな状況で失意と信仰的な試練の内に置かれていることが書かれています。

### この状況で神はどこにおられるのでしょうか？

ヨセフの失意や孤独の中でも、神は小さいながらも、創造的に働いておられるのです。

## 観察と意味

1. 献酌官と料理官そしてヨセフを比べてみましょう::
  - i. 創世記40:2-3と創世記39:19-20を比べてみてください。この二人はヨセフとどのように似ていますか。
  - ii. 創世記40:1と創世記39:8-10,13を比べてみてください（40:15も参照）。この二人はヨセフとどう違うとおもいますか？
2. 献酌官と料理官の見た夢は何だったのか:
  - iii. 献酌官が見た盃は誰のものですか？その盃は誰の手にあるのか？彼はそれをどうするのか？彼はその盃をどこに置くのか（11節）。
  - iv. 料理官の夢の中で、最初に描写されるものは何でしたか（v.16）？一番上の部分には何があるのか（17節）？そこで食べ物はどうなっているのか。
  - v. ヨセフはどのように夢を解釈したのか（創世記40:12-13、創世記40:18-19参照）？
3. ヨセフが夢の解釈を成功させたことで、献酌官はヨセフの頼みをすぐに実行に移すはずでした。しかし実際には、何が起こったのでしょうか(23節)？ヨセフの心境はどうだったのでしょうか？

4. 献酌官が行動を起こさなかった結果、ヨセフの獄中生活はいつまで続きましたか（創世記41:1参照）？

## 適応

- あなたの人生における困難な時期を思い出し（あなたの失望や孤独にもかかわらず）神が小さな創造的な方法で働かれたことを説明してください。
- あなたが困難な時期に発見した神の真理で、困難な時期に他の人を励ますのに役立ったものは何ですか？
- 一週間の間にお互いを忘れないようにするために、あなたは何をすればよいですか？



ファラオの夢

# 創世記 41:1-57

# 創世記 41:1-57

## ファラオの夢

### 聖書箇所

創世記 41:1-57

### 大きな目的

ヨセフは複雑な家庭で育ちました。彼は、裏切り、苦難、不正、そして孤独に耐えていました。しかしこの聖書の中で最も劇的とも言えるな逆転劇を通して、ヨセフは権力と権威のある地位へ上り詰め、神の人々であるユダヤの民を救い、神から契約を受けた家族を守ることに成功しました。ヨセフの物語はこの「愛する子」の人生における神の摂理の物語であり、来るべきまことの、より完全な愛する子の到来を予言するものです。

### 概要

ヨセフがついに獄中から昇格し、重要な役職に就くという劇的な展開となった。この出来事は、献酌長官が釈放されてから2年後の出来事である。ヨセフが30歳になり（46節）、エジプトに滞在して約12年になります（創世記37:2参照）。

この章を読むと、人間の成功や繁栄は自分で生み出すものではないことがよくわかります。神は、その民の人生のすべての出来事を監督しておられるのです。ヨセフがファラオの前に現れたとき、神が主権者であることを認めました。ファラオはヨセフが夢を解釈する能力について指摘し、ヨセフは次のように答えます。

- 「私ではありません。神がファラオの繁栄を知らせてくださるのです。」（16節）

ヨセフはすべての功績を神に捧げ続けています：

- “神は..何をしようとしておられるかを明らかにされた”(25節)
- “神は...なさろうとしていることを示された”(28節)
- “そのことは、このことが神によって定められている”(32節)

やがて、ファラオ自身も神を認めました：

- “神がこれらすべてのことをおまえに知らされたからには ...”(39節)。

## 観察と意味

1. ヨセフが夢の解釈役から知恵ある助言役に転身したヨセフは、神が明らかにしたことを踏まえて、ファラオに何をしよう勧められているでしょうか（33-35節）。またどのような人が必要だとヨセフは勧めているのでしょうか（33節）？
2. 神は、ヨセフの夢の解釈を通して、ファラオにどのようなことを勧めましたか（33節）？神は、ヨセフの夢の解釈を通して、パロにあることを明らかにされました。ヨセフが「エジプトの国」を守るために、その夢を元に助言を与えているのです。ヨセフがやがて気づいた、神が守ろうとしたものは何だったのでしょうか（創世記45:5-8参照）？
3. 飢饉の年の前に、ヨセフが二人の息子の父となる。ヨセフは長男を何と呼び、なぜその名を使うのでしょうか（51節）。同じくヨセフは次男を何と呼び、なぜその名を使うのでしょうか（52節）
4. 飢饉が広がっていたにもかかわらず、エジプトには何が有りましたか（54節）？パンが欲しいと叫ぶ人々を、ファラオは誰のところへ送ったか（55節）？

## 適応

- この箇所から、あなたは神について何を学べますか？
- キリストの福音にふさわしい」（ピリピ1:27）人生を送るための鍵は、私たちの人生におけるすべての実りに対して、すべての栄光を神様に帰すということです。あなたは神に感謝することを忘れていないでしょうか？
- イエスは父を敬いました（ヨハネ12:28）。自分の人生における神の配慮を認識し、それを尊重することによって、あなたはどのように神に近づくことができますか？使徒パウロの言葉（第1テサロニケ5:16と18）をよりよく実践するにはどうしたらよいでしょうか？

**“父よ、御名の栄光を現してください”**

**(ヨハネの福音書 12:28)**



<https://www.gracecity.jp>

